

校長室から

校長 武田 幹弘

冬休みが終わり、いよいよ今年度の締めくくりとなる期間が始まりました。休み前に皆さんに伝えた家庭や地域への貢献は、いかがだったでしょうか。雪かきや家族のための食事作りなど、些細なことでも自分にできることを考えて行動できたなら、それは素晴らしい経験です。もし思うように動けなかったという人がいれば、今日からまた身近な人や学校のために何ができるか、意識して過ごしてみましょう。

さて、この大切な時期を過ごすにあたって、皆さんに意識してほしい言葉があります。それは「段取り八分（だんどりはちぶ）」です。仕事の良し悪しは準備（段取り）が八割を決め、本番は残りの二割に過ぎないという意味です。本校の学びである農業でも、種まき前の土作りといった準備が収穫を左右します。

これからの学校生活も同じです。卒業を控えた3年生は次のステージへの準備を。1・2年生は、進級して先輩や最高学年になるための心の準備を整えてください。「なんとなく」過ごすのではなく、「今、何をすべきか」を考え、時間を有効に使いましょう。

事前の準備を徹底することで心に余裕が生まれ、最高の結果を出すことができます。体調管理に気を配りながら、この期間を次の一歩への素晴らしい助走期間にしていきましょう。

1月のトピックス

1月22日（木）から1・2学年のスキー授業が始まっています。

現在、1・2年生の体育の授業では、遠別幸和スキー場でスキー授業を行っています。生徒は技能別の班に分かれて滑走し、ここ1週間ほど真冬日が続いていますが、元気に滑っています。1年生の中には初めて滑る生徒もあり、少しでも滑れるように頑張っています。スキー授業は1月29日まで行っており、2月3日には1・2年生全員で音威子府村でのスキー遠足を予定しています。



1月23日（金）3年生の総合的な探究の成果発表会を行いました。

1年間を通して1人1人が個別のテーマで行ってきた探究活動の成果をスライド1枚にまとめて、全校生徒の前で発表しました。発表方法はポスターセッションで行い「興味のある探究テーマ」について3年生は、探究の成果について自信を持って発表していました。実施後に行ったアンケートで質問したところ「羊毛の使い道を増やす」「力土の稽古をして下半身がどう変化するか」「レモンより酸っぱいものは作れるか」「遠農の生産物を使って商品を開発する」など幅広いテーマに興味があることが分かりました。今後は本校での学びを基礎に地域課題などを取り入れた探究にしていきたいです。



2月の行事予定

2月3日（火）	スキー遠足【1・2】
2月13日（金）	普通救命救急講習【1】
2月17日（火）～18日（水）	後期末考査

2月20日（金）	校内実績発表大会
2月28日（土）	卒業式予行、農クOB会・同窓会入会式

